

メンバーの皆様へ

2023年5月3日

ロシア産原油の上限価格（プライスカップ）制度について（更新）：報告義務および回避警告

英国の報告義務

2022年12月4日、英国政府は、ロシア産原油に関して EU/G7 連合プライスカップを実施するための一般許可 INT/2022/2469656(「GL」)を発行しました。[この許可は石油製品に関するプライスカップ導入を受けて2023年2月3日に改訂されています。](#)

一般許可に依拠することを希望する英国に居住または英国で運営する保険者（「英国保険者」）は、ロシアから第三国へ、またはロシア以外の港湾から第三国へ、若しくは Ship to Ship（STS）方式での移送作業を介してロシア産の原油または石油製品に関する海上輸送の記録を保持する必要があります。

これらの記録保持要件は、2022年3月に英国政府によって発行された一般貿易ライセンス（以下、「ライセンス」）の条件よりも広範です。このライセンスにより、英国保険会社は、GLが使用されるたびに記録を保管することを条件に、ロシアに寄港する船舶またはロシア領海を通過する船舶に対して保険提供することができます。つまり、船舶はロシア港湾に寄港またはロシア領海を通過する必要がないためです。2022年5月18日付の国際グループ (IG) サーキュラーでは、船舶を所有するメンバーが、このライセンスに依拠できるようにするためには、ロシアへの寄港ならびにロシア領海を通過する際には、その都度英国に本社を置く P&I クラブまたは英国に所在するその子会社、支店、クラブ管理会社に通知する必要があります。これが忠告されています。

EUの輸入禁止

さらに、メンバーの皆様におかれましては、EUの理事会規則833/2014第3m条に基づき、EUへのロシア産原油または石油製品の輸入は、特定の非常に限られた例外措置および特例を条件として禁止措置の対象となりますのでご注意ください。この禁止は、航海のあらゆる行程を対象としており、EU域内へ貨物を引き渡す船舶だけを禁止措置の対象としているわけではありません。EUによって禁止されているロシアの貨物がEU域内へ輸入される場合、その石油/製品を積載したいかなる船舶も制裁措置に違反することになります。同条項は、EU域内への貨物の海上輸送を対象とする保険を含む融資または財政的支援も禁止しています。制裁措置違反によって、保険の責任中断約款または契約解除約款がさらに発動される可能性があり、それを受けてメンバーには保険カバーが適用されなくなる可能性があります。

船舶所有者および保険会社が貨物がEU向けであることを知らなかった場合には、貨物がEU向けであると疑う合理的な理由がなかった場合、船舶、船舶所有者および保険会社にとって有効な抗弁となる可能性があります。

したがって、たとえば、A船がロシア産石油を積載してB船に移送し、その石油またはその一部がEUに引渡しされた場合、船舶とその保険会社の両者が



EU制裁措置および場合により他の制裁措置に対して違反したことになります。これは、EU制裁措置がただ運搬船または船舶に目を向けているのではなく、問題になっている貨物に注目するという原則にならっています。

要約：

- ロシアに寄港あるいはロシア領海を通過する船舶所有者は、加入されているクラブにその航海の内容を詳細に届け出る必要があります。
- 上限価格以下にあるロシア産原油または石油製品を輸送する場合、船舶がロシアに寄港あるいはロシア領海を通過するかどうかに関係なく、その航海の内容を詳細に届け出る必要があります。また、宣誓書（Attestation）も加入されているクラブに提供する必要があります。
- ロシア産原油/石油製品のSTS方式移送作業に関与し、貨物が最終的にEU域内に到着する船舶は、EU制裁措置違反を犯す危険があります。したがって、不慮の制裁措置違反を犯した際に有効な抗弁を保証するために、徹底的なデューデリジェンスの実施が推奨されます。

本サーキュラー付属資料に添付する形で2022年5月18日付サーキュラーを更新し(新しい文書は**太字**で強調表示されています)、プライスカップに関する一般許可に基づく報告要件についてメンバーへの助言を行っております。

ロシア石油上限価格回避の可能性

世界的な原油および製品価格の変動により、ロシアの貨物が適用される上限価格を超えて取引されるリスクが高まる可能性があります。当クラブは、これらの上限価格を上回る価格で販売された貨物輸送に対し保険カバーを提供することはできません。そのため、ロシア産石油貨物の輸送を計画しているメンバーは、適切なデューデリジェンスを実施したうえで、貨物の購入価格がプライスカップ制度の上限価格を超えない旨の宣誓書を用船者から取得する必要があります。特に、購入価格がプライスカップ制度の上限価格より高く上昇すると、荷送人や販売チェーン内における他の関係者が貨物の実際の価値を曖昧にしようとする可能性があるためです。

また、メンバーの皆様におかれましては**2023年2月10日**付けで更新された2022年12月9日付けサーキュラーに従って、プライスカップの要件は船積みの時点だけでなく、「[貨物]が船積みされた時点から目的地の港で税関を通過するまで」、つまり船舶に積み立てている間は常に適用される旨をご留意ください。従って、メンバーの皆様におかれましては、さらなる市場の動きを受けて、引渡し時または航海中のいかなる段階においても貨物が上限価格を上回る価格で販売されないよう、関連する宣誓書が**航海の全途上において有効な状態**であるという宣誓手続きの要件を満たし、適切なデューデリジェンスを実施するよう強く推奨いたします。航海中のいずれかの時点で関連する上限価格を超える販売が発生した場合、当クラブの保険カバーは適用されません。2022年12月9日付のサーキュラー(2023年2月10日に更新)に示されている書式のプライスカップ宣誓書は、プライスカップの対象となる貨物を含む最初の航海開始前に加盟するクラブに提出する必要があります。当クラブは、メンバーが価格上限が設定された貨物を引き続き運ぶ場合、新保険年度の開始時に更新された宣誓書の提出を要求する場合があります。

米国の商務省産業安全保障局（BIS）、財務省外国資産管理局（OFAC）および司法省は2023年3月2日、ロシア関連制裁の迂回および輸出管理の順守に関する勧告を公表しました。



制限を回避し、ロシアのエンドユーザーの真の身元を隠すために、第三者的立場の仲介者および経由便での積み替え地点を使う、ロシア関連の制裁・輸出管理の迂回に関する警告。勧告では一般的な迂回戦術についても強調されており、次のような行動から違反行為が推測され得るとしています。

- 所有者、資金源、特に制裁対象の法域関連する国を隠ぺいするためのダミー会社などの利用
- 顧客がエンドユーザーフォームへ記入しないなど、納品した製品の最終用途に関する情報が共有されない
- 実体のない幽霊会社を利用した国際送金の実行
- エンドユーザーフォームに記載されていない第三国または企業からの支払い
- 企業のEメールアドレスではなく、個人のアドレスを使用
- ウェブ上の存在がほぼもしくは全く確認できない団体が関与する送金
- 特定の積み替え地点を介して決まった購入ルートを経て、制限措置の対象品目をロシアまたはベラルーシに違法に宛先を変更。輸出管理対象国には、中国(香港とマカオを含む)、アルメニア、トルコ、ウズベキスタンが含まれる場合があります。

米国外国資産管理局 (OFAC) は2023年4月17日、ロシアが東シベリア太平洋 (E S P O) パイプラインとコズミノ港などロシア連邦東部沿岸の港を経由して輸出する石油を含む、ロシア産原油に設定した価格上限を回避している可能性があるとの警告を出しました。特に注目すべきは、一部のタンカーはコズミノ港などロシア東部沿岸港湾に寄港した事実を隠蔽するために船舶の自動識別システム (AIS) に偽装工作を行っている可能性があるという問題です。メンバーの皆様におかれましては、警告文を最後まで読むことをお勧め致します：[ダウンロードは \(treasury.gov\)](#)から、また最近の詐欺行為に関する [2022年2月3日](#)付サーキュラーもご確認ください。最後に、船舶のAIS送信をオフにする「スプーフィング」またはその他の方法で偽装工作を行わないことの重要性を再認識してください。

敬具

Jeremy Grose
ディレクター

The Standard Club UK Limited
E-mail: jeremy.grose@standardclub.com



附属書

2022年3月17日付一般貿易ライセンス – ロシアに寄港およびロシア領海を通過する船舶の報告義務。

2022年3月17日、英国政府は、対ロシア制裁改正規則 (制裁) (EU 離脱) 規則 (「以下、規則」) の明確化のために、一般貿易ライセンスを発表しました。具体的には、このライセンスは英国に居住または運営する保険・再保険者がロシアに寄港する船舶またはロシア領海を通過する船舶に対して保険を提供することが、規則の下で合法であるかどうかという問題に対応しています。

一般貿易ライセンス (以下、「ライセンス」) は、こちらより閲覧できます。

<https://www.gov.uk/government/publications/general-trade-licence-russia-sanctions-vessels>

本ライセンスは、基本的に貿易自体が合法であり適用される制裁に従っている場合、英国に本拠を置くクラブ、または英国に本拠を置くクラブの子会社、支店、クラブ管理者が、ロシアとの貿易に従事する、またはロシア領海を通過する船舶から生じるクレームを補償し保険提供できることを規定しています。ただし、該当するクラブは英国所管大臣に各ライセンスの使用に関連した記録に記載された名前と所在地を通知することを条件とします。クラブが保持する必要がある記録の内容は、規則76 (一般貿易ライセンス：記録) に定められており、以下が含まれます。

- (a) 当該行為の内容説明。
- (b) 当該行為に関連する物品、技術、サービス、または資金の詳細。
- (c) 当該行為の日付または行為が行われた期間。
- (d) 当該行為に関連する物品または資金の量。
- (e) [保険者の]名前および所在地。
- (f) 当該行為に関連する物品の荷受人、または関連する技術、サービス、または資金の受取人の名前および所在地。
- (g) [保険者]が知る限りの範囲で、当該行為に関連する商品、技術、サービス、または資金のエンドユーザーの名前および所在地。
- (h) [保険者のもの]と異なる場合は、当該行為に関連する商品の供給者の名前および所在地。

クラブは、上記の記載情報が記録された暦年の末日からさらに4年が経過するまで、上記の情報を保管するものとします。



2022年3月17日以降、ロシアに寄港あるいはロシア領海を通過する船舶所有者は、規則76の要求に従い、できる限り詳細な情報をその船舶の加入するクラブに報告することが求められています。報告を怠った場合には、当該船舶のP&I保険が無効になる、もしくは保険金の支払いが実施されなくなる可能性があります。この要求事項は、（ロシアに居住およびロシアに船籍を有する船舶を含む）すべてのクラブ加入船舶に適用され、英国に居住するメンバーや英国籍船舶を運航するメンバーに限って適用されるものではないことをご承知下さい。

従って、メンバーの皆様におかれましては、ロシアへの寄港ならびにロシア領海を通過した[1か月]以内に、当該航海の船荷証券の写しとともに、添付の[スプレッドシート](#)にて必要な情報の提供をお願い致します。

ロシア産原油のプライスカップ制度

英国法では、ロシア産原油（CNコード2709-00）または石油製品（CNコード2710）の海上輸送、およびこれらの貨物輸送に関連する船主責任保険(P&I保険)を含む関連サービスの提供は、ロシア制裁規則（EU離脱）（修正）（第16号）（ロシア制裁規則2022（EU離脱）（改正）を改訂）により禁止されています。ロシアの原油に関しては2022年12月5日以降、石油製品に関しては2023年2月5日以降、禁止されています。

英国（およびEU、米国、オーストラリア、カナダ、日本）で構成されるプライスカップ同志国連合は、上限価格以下で販売された場合、ロシア産原油および石油製品の第三国間の海上輸送を円滑にするために、この禁止に対するプライスカップの例外措置を定めています。現在、関連する上限価格は、原油は1バレルあたり60米ドルであり、原油より安値で取引される石油製品は1バレルあたり45米ドル、原油より高値で取引される石油製品は1バレルあたり100米ドルです。

英国では、一般許可はロシア産原油または石油製品および関連サービス（P&I保険を含む）のロシアから第三国への海上輸送、またはある第三国から別の第三国への海上輸送を許可することによりプライスカップ制度を実施しています。ただし、石油または石油製品の1バレルあたりの価格が、船舶に積み込まれてから目的地の港で税関を通過する時点までの間、関連貨物の価格をプライスカップ価格以下に維持することを条件としています。

一般許可には、正確かつ完全な記録を保管するための要件が含まれており、書面または電子的に英語で以下の詳細が記載されている必要があります。

- (a) 一般許可の下で行われる当該活動の説明。
- (b) 当該活動に関連する物品、サービスまたは資金の性質の詳細。
- (c) 当該活動の日付または活動が行われた期間。



- (d) 当該活動に関連する物品、サービスまたは資金の価値および量。
- (e) 一般許可に依拠する【保険者の】名前および所在地。
- (f) 当該活動に関連する物品の荷受人、または関連するサービスまたは資金の受取人の名前および所在地。
- (g) 【保険者】が知る限りの範囲で、当該活動に関連する商品、サービス、または資金のエンドユーザーの名前および所在地。
- (h) 【保険者のもの】と異なる場合は、当該活動に関連する商品の供給者の名前および所在地。
- (i) 関連する場合、作成または提供された宣誓書の写し。

上記の記載情報が記録された暦年の末日からさらに4年が経過するまで、上記の情報を保管するものとします。

2022年12月9日付IGサーキュラー (2023年2月10日に更新) で説明されているように、ロシア産原油および/または石油製品の輸送を企図している船主または用船メンバーは、保険期間中を通じて、積載中に上限価格を超える価格で販売されたロシア産原油貨物を輸送しない旨を明記した宣誓書を、それぞれのP&Iクラブに提出することが求められます。また、メンバーは、貨物に支払われた価格がプライスカップに適合していることを記録した宣誓書を契約相手方から入手しなければなりません。

一般許可は、ロシアから第三国へ、またはロシア以外の港湾から第三国へ、若しくはShip to Ship (STS) 方式での移送作業を介してロシア産の原油または石油製品に関する海上輸送の記録を保持する必要があります。従って、船主メンバー各位におかれましては、ロシアへの寄港ならびにロシア領海を通過した1か月以内に、当該航海の船荷証券の写しとともに、添付されたスプレッドシートに更新して必要な情報の提供をお願い致します。このような情報詳細提供を怠った場合には、当該船舶のP&I保険が無効になったり、保険金の支払いができなくなる可能性があります。この要求事項は、すべてのクラブ加入船舶に適用され、英国に居住するメンバーや英国籍船舶を運航するメンバーに限って適用されるものではありません。

ロシアが関係する貿易は、現在、重大な法的規制の対象となっていますメンバーの皆様は、適用される制裁措置に違反する取引については保険カバーが適用されない旨をくれぐれもご留意願います。また、ロシアを発着するもしくはロシア領海で取引を行われる前に、関係者、貨物、取引に関する徹底的なデューデリジェンスの実施を推奨致します。